

## 「新京都大納言」の機械化現地試験の収穫

京都府産大納言小豆の生産拡大をめざして、南丹市八木町において、「新京都大納言」の中型機械化栽培体系の現地試験を実施しています。

11月21日にビーンハーベスタを用いて収穫を行い、乾燥用ハウスに搬入しました。収穫作業時間は、雑草が繁茂していたこともあり、モデル体系より少し多く要し、10a 当たり約70分でした。今後、収量・品質等について検討を進めていきます。



ビーンハーベスタによる小豆収穫。刈り取り後は野菜用ビニルハウス内で株乾燥後、脱粒します。